

令和6年11月20日
観光庁

初開催となるG7観光大臣会合に萩川観光庁長官が出席 ～イタリア・フィレンツェにてコミュニケを採択～

令和6年11月13日～15日にイタリア・フィレンツェにて、G7の枠組みとしては初となるG7観光大臣会合が行われ、日本からは萩川観光庁長官が出席しました。

本会合では、持続可能で包摂的な社会発展のための観光の役割、観光産業における人材育成、観光産業におけるAI導入の可能性と課題等について活発な議論が行われ、その成果として、コミュニケが取りまとめられました。

- 開催日時 令和6年11月13日（水）～15日（金）
- 開催地 イタリア・フィレンツェ
- 参加国・機関
G7国（イタリア（議長国）、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、カナダ）、EU、ブラジル、エジプト、インド、サウジアラビア、OECD、UN Tourism、WTTC
- 参加閣僚等（G7各国）
 - イタリア：ダニエラ・サントンケ 観光大臣（議長国）
 - フランス：マリーナ・フェラーリ 経済・財務・産業大臣付 観光経済担当大臣
 - 米国：アレックス・ラズリー 商務省 旅行・観光担当次官補代理
 - 英国：ロバート・スペクターマン＝グリーン 文化・メディア・スポーツ省 メディア&国際部長
 - ドイツ：ディーター・ヤネチェック 経済気候保護省 海事経済・観光担当コーディネーター
 - 日本：萩川直也 観光庁長官
 - カナダ：ソラヤ・マルティネス・フェラダ 観光大臣兼ケベック州経済開発庁担当大臣
 - EU：フーベルト・ギヤムズ
欧州委員会 域内市場・産業・アントレプレナーシップ・中小企業総局 副局長

○ 関連サイト

コミュニケ本文（英文・仮訳）は、以下のURLよりご参照ください。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_00010.html（観光庁サイト）

その他の資料に関しては、以下のG7イタリア公式サイト（英語サイト）よりご参照ください。

付属文書：<https://www.g7italy.it/en/documents/>

公式フォト・ムービー：<https://www.g7italy.it/en/foto-video/ministers-meeting-on-tourism/>

<問合せ先>

観光庁 国際観光部 参事官（国際関係）佐藤（27446）

国際観光課 高築（27424）、木村（27435）

TEL：代表 03-5253-8111、直通 03-5253-8923

G7 観光大臣会合（イタリア・フィレンツェ） 概要

1. 観光大臣会合結果

大臣会合では、①持続可能な観光、②観光におけるA I、③観光における人的資本、④観光分野におけるG7のリーダーシップについて議論が行われました（②については招待国・機関（ブラジル、エジプト、インド及びサウジアラビア並びに世界観光機関（UN Tourism））も参加）。

我が国からは、それぞれのテーマに関する我が国の課題や取組、特に持続可能で強靱な観光について、本年11月に宮城県仙台市にて観光レジリエンスに関する閣僚級会合を開催し、観光レジリエンス向上に向けた今後の取組の方向性を取りまとめたこと等について発信しました。

本大臣会合での議論の結果、観光が、持続可能な繁栄、多様性への理解、異文化間の相互理解や尊重、ひいては、国際平和に資することへの認識を改めてG7各国で確認し、観光分野でG7が率先して国際社会に貢献していくことの意義について共通理解が得られ、以下の内容が盛り込まれたコミュニケが採択されました。

- 持続可能かつ包摂的な、バランスの取れた観光の発展の促進
- 観光産業における人的資本の主要な役割とその強化・向上
- 観光の発展における、人工知能（A I）を含むデジタル技術導入の可能性



2. 各国とのバイ会談

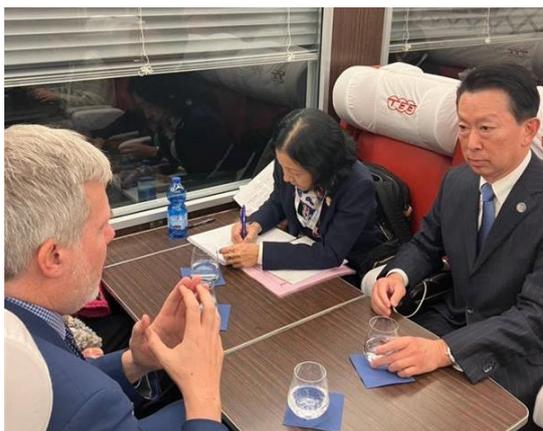
●イタリア

- ・ 菟川観光庁長官とダニエラ・サントンケ観光大臣との間でバイ会談を行い、菟川長官から初めてのG7観光大臣会合開催の謝意を述べるとともに、2025年大阪・関西万博のPRを行いました。



●ドイツ

- ・ 菟川観光庁長官とディーター・ヤネチェク連邦経済気候保護省 海事経済・観光担当コーディネーターとの間でバイ会談を行い、両国の観光産業におけるAIの重要性と課題について意見交換を行いました。



3. 各国・機関との対話



(英国) ロバート・スペクターマン=グリーン
文化・メディア・スポーツ省 メディア&国際部長



(カナダ) ソラヤ・マルティネス・フェラダ
観光大臣兼ケベック州経済開発庁担当大臣



(EU) フーベルト・ギヤムズ
欧州委員会 域内市場・産業・
アントレプレナーシップ・中小企業総局 副局長



(エジプト) シェリフ・ファティ・アティア
観光・考古大臣



(サウジアラビア)
ハイファ・ビント・モハメド・アル・サウド
観光副大臣



(UN Tourism) ソリッサ・ウロセビッチ
上級部長



(OECD) 武内良樹 事務次長